

## ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久平和を求める決議

世界中が新型コロナウイルス感染症の猛威にさらされその対応に追われている中、ロシア軍は、令和4年2月24日早朝（現地時間）、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの全面的な軍事侵攻を開始した。侵攻が進むにつれて、民間人を含め多数の犠牲者を出し続けている。また、プーチン大統領は、核兵器で威嚇し、使用も辞さない姿勢を見せている。

今回のロシアの行動は明らかに国連憲章に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす侵略で、断じて容認することができない暴挙である。ウクライナ全土の人々が直面している戦争の現実を到底看過することはできず、世界唯一の戦争被爆国の国民であり、さらには「非核・恒久平和の町」を宣言した町民として、ロシア軍の一連の行動を断じて許すことはできない。

よって、本町議会は、ロシア軍による攻撃とウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止とウクライナ領土から直ちに全ての軍隊を完全に撤退させること及び誠実に国際法を遵守し、平和的に対応することを強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年3月4日

久山町議会